

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	特別支援教育論（幼・小）		
担当者(Instructors)	松尾 香弥子, 小川 征利	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
「特別な支援を必要とする生徒への理解と対応」を授業のテーマとする。特別支援教育の歴史や制度の変遷を踏まえ、個別の教育的ニーズのある生徒が学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学べるよう、各種障害の特性理解と心身の発達、教育現場における実態と教育・支援における現状を理解する。また、教育現場における他の教員や外部の関係機関との連携、さらに保護者らとの効果的な協力体制の作り方について理解することを目標とする。各種障害に関する理解と支援の方法に加え、個人としての心身の発達や他の生徒との関わり、家庭との関わり等総合的な視点を理解する。本授業では、特別支援に関する知識を得るとともに、インクルーシブ教育の理念や個別の教育支援計画の作成、関係機関との連携等、教育現場で求められる支援方法も学ぶ。授業では考察課題等を提示することで主体的・対話的な学習を通して理解を深める。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の最初に考察課題を提示します。各授業と各回に配布される資料等を通して課題に対する考察を深めてください。各回の終盤には授業のポイントを確認するための小テストを実施します。なお、オンデマンド授業となる場合があるので注意すること。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要、特別支援教育の歴史と制度の理念や仕組み	特別支援教育に関する歴史と制度について学ぶ。	■
第2回	障害の種類と学習・生活上の困難	各種障害の種類と学校生活で起こりうる困難について学ぶ。	■
第3回	視覚障害・聴覚障害のある生徒の特別支援教育	視覚障害・聴覚障害のある生徒への特別支援教育の方法や支援の実態について学ぶ。	■
第4回	肢体不自由・病弱等のある生徒の特別支援教育	身体障害・病弱等のある生徒への特別支援教育の方法や支援の実態について学ぶ。	■
第5回	知的障害のある生徒の特別支援教育	知的障害のある生徒への特別支援教育の方法や支援の実態について学ぶ。	■
第6回	通級による指導及び自立活動	通級指導の仕組みや生活における自立活動の支援について学ぶ。	■
第7回	個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用	個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成と活用方法について学ぶ。	■
第8回	発達障害（１）自閉スペクトラム症	自閉スペクトラム症の主な特性と支援方法について学ぶ。	□
第9回	発達障害（２）注意欠如・多動症	注意欠如・多動症の主な特性と支援方法について学ぶ。	□
第10回	発達障害（３）学習障害	学習障害の主な特性と支援方法について学ぶ。	□
第11回	発達障害（４）発達性協調運動障害	発達性協調運動障害の主な特性と支援方法について学ぶ。	□
第12回	子どもを取り巻く社会的課題（母国語、貧困の問題等）	母国語、貧困の問題等、生徒の発達・成長に影響しうる社会的課題について学ぶ。	□
第13回	特別支援教育コーディネーター等との校内連携体制の構築	校内における多職種連携の体制や効果的な支援チームの構築について学ぶ。	□
第14回	外部機関との支援ネットワークの構築や保護者との協力体制の構築	医療・福祉機関等の支援機関との連携の重要性、役割分担などの協力の仕方、保護者との協力体制の構築の意義、関わり方のポイントについて学ぶ。	□
第15回	多様性を踏まえたインクルーシブ教育、本授業のまとめ	教育現場におけるインクルーシブ教育の理念と指導への活用について学ぶ。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には新聞やTVの報道インターネットなどを通して特別支援教育に関する最新的话题をチェックしてください(1~2時間程度)。授業後は、配布資料や参考図書などを通して課題に関する考察を深めてください(1~2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の小テスト及び課題レポートは、採点・添削の上返却します。また、授業内容に関する質問等については、授業内に回答し全体で共有する機会をもちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	小学校教員・幼稚園教員・保育士として特別支援教育に必要な基礎的な事項について説明することができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	小学校教員・幼稚園教員・保育士として障害のある幼児児童に対し、障害の特性に応じた指導や支援の内容について考え説明することができる
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	小学校教員・幼稚園教員・保育士として特別支援教育の推進に必要な校内体制の構築や関係機関、保護者との連携・協力について説明することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			90%	10%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回の終盤に小テストを実施します。また、各回の授業における発言や質問等についても評価します。さらに、全体のまとめとしてレポート課題を実施する場合があります。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門	978-4893473271
2		
3		
4		
5		